

ぼくのこうつうあんぜん

くわいそうろう

ぼくは、いつもバででが、こうにいって、  
ます。バスにのるまえにおうだんほどうを気  
をつけてわたります。なぜかというところひか  
れないように、しなないように気をつけない  
といけないからです。

どうして子どもがじ二にあいやすいのかは、  
せが小さいし、とび出してしまっし、ちや

んと車を見てないし、ふざけたり、くらくな  
るまであそんでいるから、車から見ずらくて  
じ二になつてしまっ。だから、せが小さか  
たらめだつものをつけるといい。とび出して  
しまっなら、あせらないでかえればいい。ち  
ゃんと車を見れないなら、右左右を見ればい  
い。ふざけるなら、ふざけなくなるまでしか  
れば、いつかやめてくれる。くらくなるまで  
あそんでしまっなら、さいしよからなんじに  
かえるときめる。このようながんじでちや

いすれば、じいちゃんをふせげる。

車は、あぶない。なぜなら、スピードを出す車もいるし、とまらない車もいる。もしかしたら、ぼくたちを見ていないかもしれない。でもそんな車といつもない。しょくにないといけない。

みらいになれば、二つ二つあんなせんはかわるかもしれない。みらいの車は、ロボットになる。人がねていてもじいじでうごくようにない。ている。だから、二つ二つあんなせん

は、人がやることではなくてきがいがあるのかもしれない。その日かくるまで、ぼくは、おうだんほどうをわたるときに右左とまわりの見たり、わたしたちと、とま、てくれた人におじぎをする。そうしたら、あいつもまたとま、てくれる。そんなかんじで、つなぐ。ていけいとおもう。